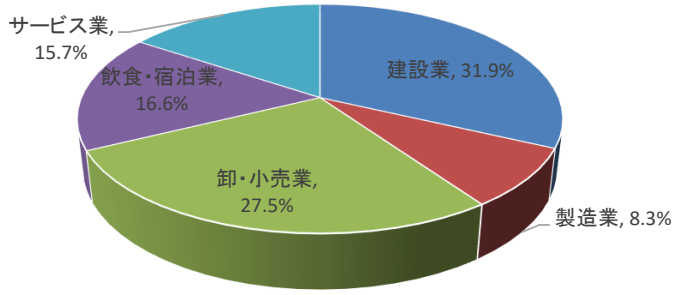
十日町市商工会地域 企業景況調査 第2四半期報告書（R1.7.1～R1.9.30）松之山地区

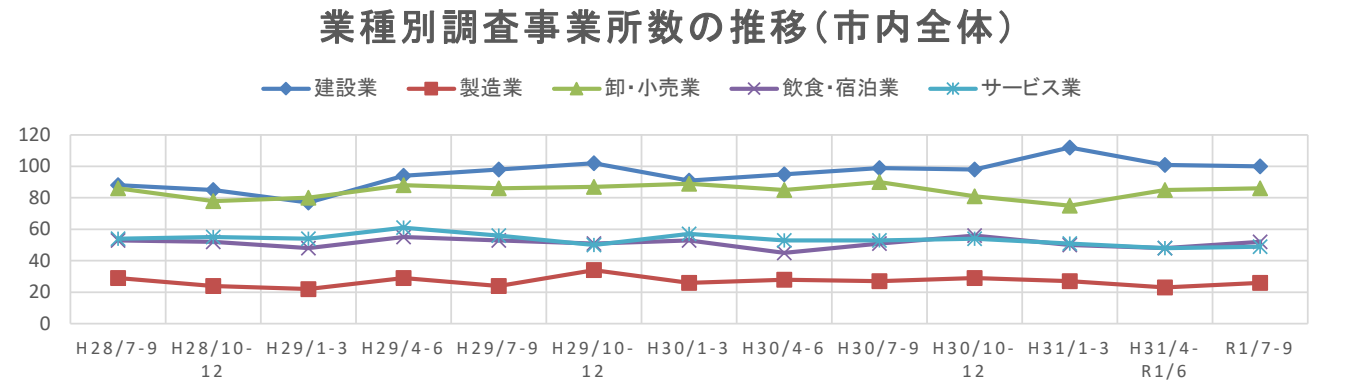
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

＜商工会地域市内全体＞



	事業者数	構成比
建設業	100	31.9%
製造業	26	8.3%
卸・小売業	86	27.5%
飲食・宿泊業	52	16.6%
サービス業	49	15.7%
全業種合計	313	100.0%

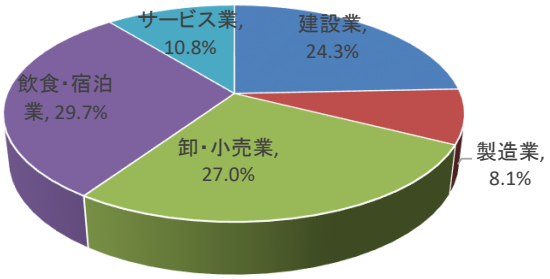


＜コメント＞

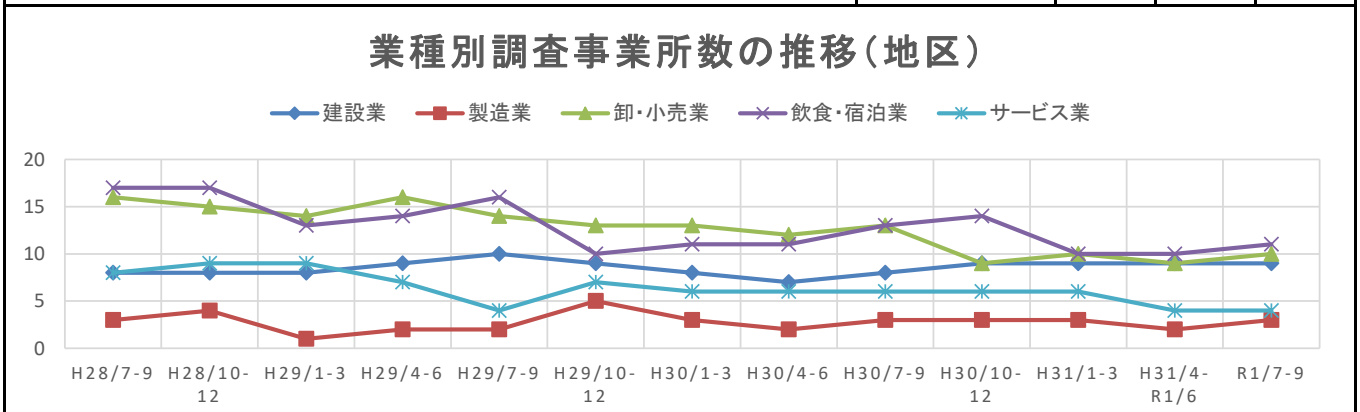
今回調査の回答事業所数は、前回調査よりも８事業所増えていて、十日町市内商工会地域全体（約1,000社）の約3割の事業所から今回も回答を得ることができた。

推移グラフからわかるとおり業種別の大きな変動はなく、前回と同じ構成割合といえる。

＜地区別：松之山地区＞



	事業者数	構成比
建設業	9	24.3%
製造業	3	8.1%
卸・小売業	10	27.0%
飲食・宿泊業	11	29.7%
サービス業	4	10.8%
全業種合計	37	100.0%



＜コメント＞

松之山地区の今回調査回答状況は、配布63事業所の内37事業所からの回答があり回収率58.7%で前回調査時よりも4.7%増加している。

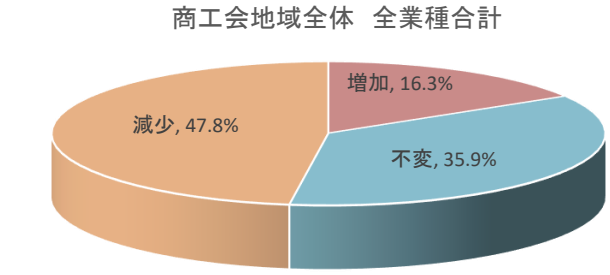
業種別で見ても前回調査時とほぼ同数であり、構成割合も大きな変動はない。

ＤＩ値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－(減少・悪化などの回答割合)

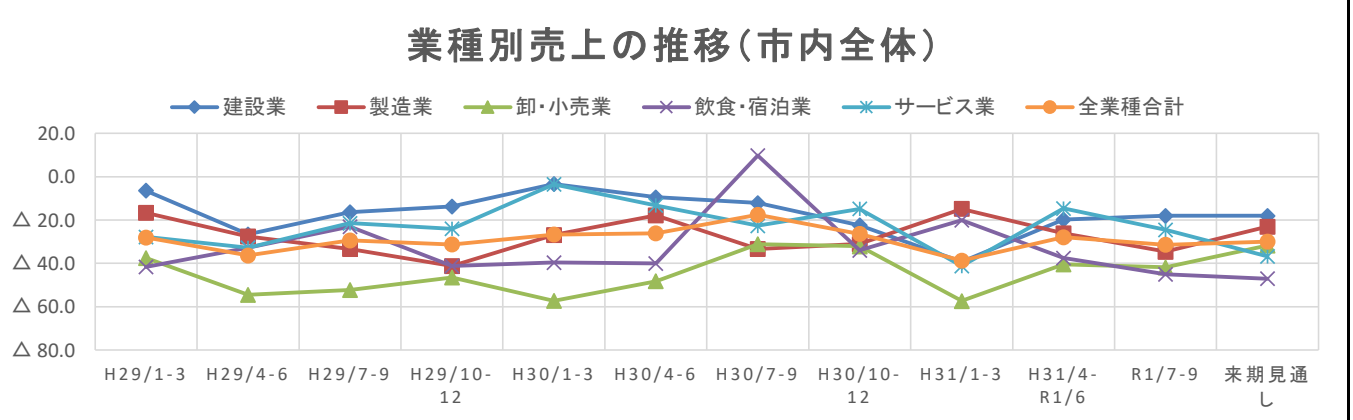
１．売上について

・７月～９月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

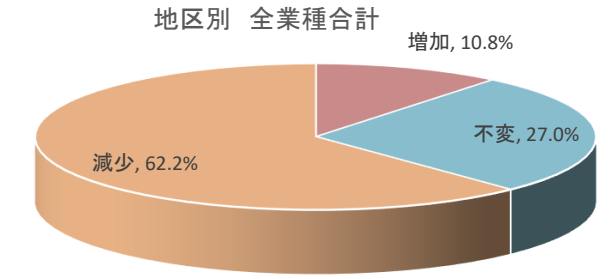


	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	17.0%	48.0%	35.0%	△ 18.0	△ 18.0
製造業	11.5%	42.3%	46.2%	△ 34.6	△ 23.1
卸・小売業	16.3%	25.6%	58.1%	△ 41.9	△ 31.8
飲食・宿泊業	11.8%	31.4%	56.9%	△ 45.1	△ 47.1
サービス業	22.4%	30.6%	46.9%	△ 24.5	△ 36.7
全業種合計	16.3%	35.9%	47.8%	△ 31.4	△ 29.9

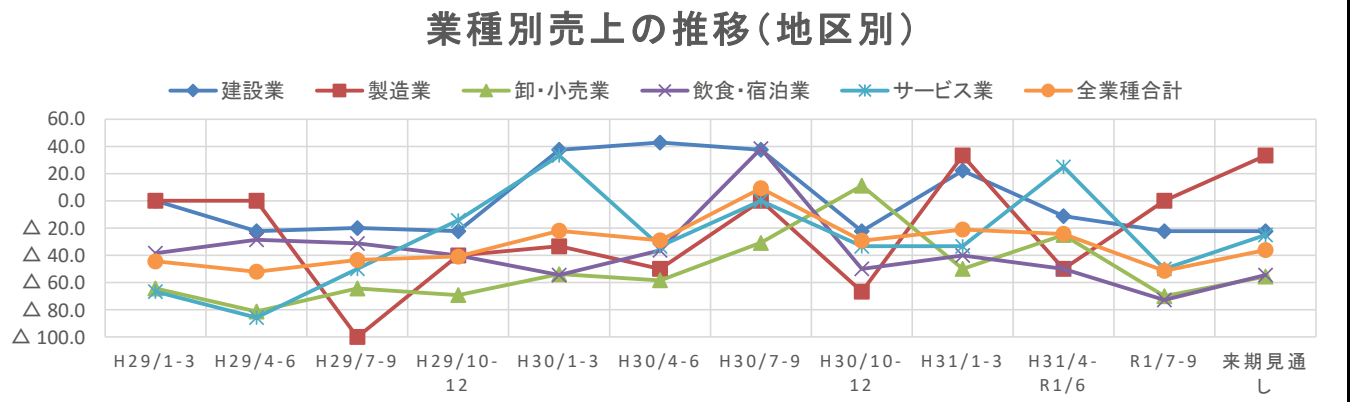


＜コメント＞　今期の市内全体の売上状況は、全業種DI値で△31.4ポイントで、前回調査時よりも3.4ポイント悪化している。前回調査時の来期見通しにて改善予測されていたものの、飲食・宿泊業でのマイナスポイントが大きく、全体の数値を下げる結果となった。来期見通しでは、飲食・宿泊業とサービス業で悪化予測されているが、その他の業種では今期と同様若しくは増加予測されており、全業種でのDI値は今期よりも若干改善予測となっている。

＜地区別：松之山地区＞



	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	22.2%	33.3%	44.4%	△ 22.2	△ 22.2
製造業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0	33.3
卸・小売業	10.0%	10.0%	80.0%	△ 70.0	△ 55.6
飲食・宿泊業	0.0%	27.3%	72.7%	△ 72.7	△ 54.5
サービス業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 25.0
全業種合計	10.8%	27.0%	62.2%	△ 51.4	△ 36.1

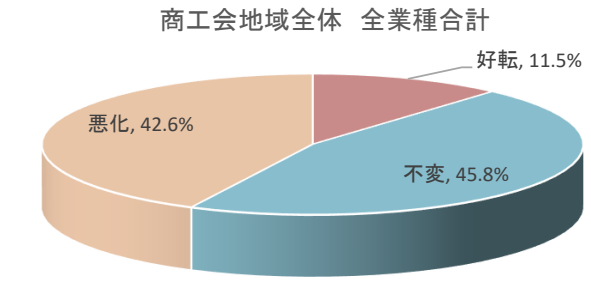


＜コメント＞　松之山地区の今期の売上状況は、全業種DIで△51.4ポイントで、前回調査時よりも27.2ポイント減少している。卸・小売業と飲食・宿泊業の減少率が高く、前年が大地の芸術祭開催期間であったことも要因の一つと推測できる。来期見通しでは建設業が横這いであるが、その他の業種は増加予測されており全業種DIで今期よりも改善予測があり、今後の動向に注視したい。

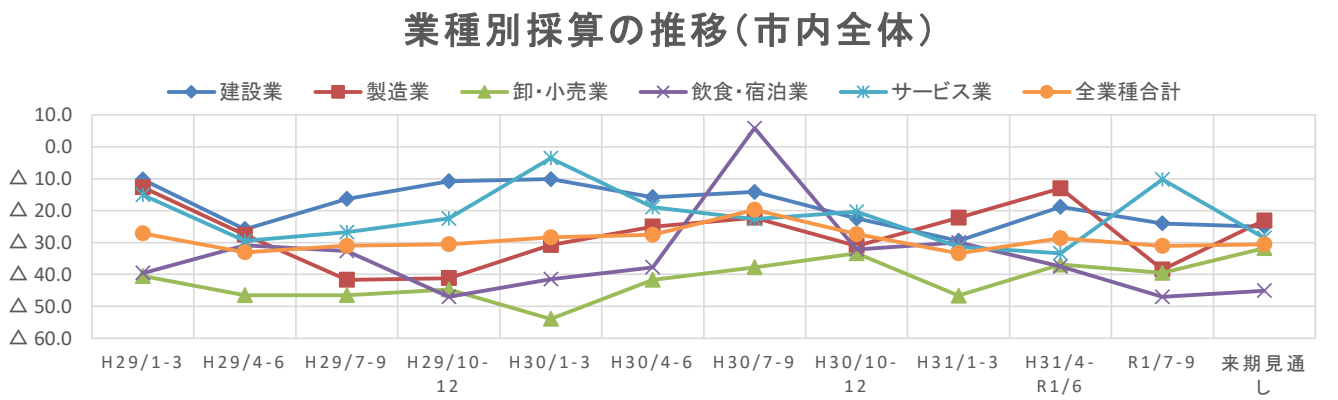
2．採算について

・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

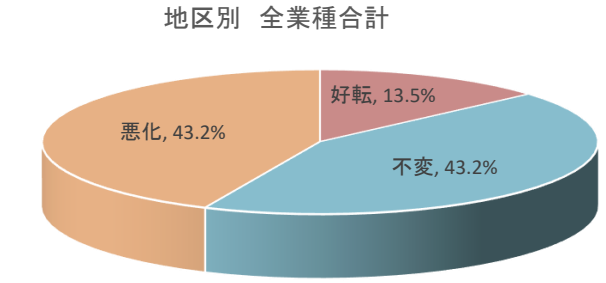


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	11.0%	54.0%	35.0%	△ 24.0	△ 25.0
製造業	11.5%	38.5%	50.0%	△ 38.5	△ 23.1
卸・小売業	7.0%	46.5%	46.5%	△ 39.5	△ 31.8
飲食・宿泊業	9.8%	33.3%	56.9%	△ 47.1	△ 45.1
サービス業	22.4%	44.9%	32.7%	△ 10.2	△ 28.6
全業種合計	11.5%	45.8%	42.6%	△ 31.1	△ 30.5

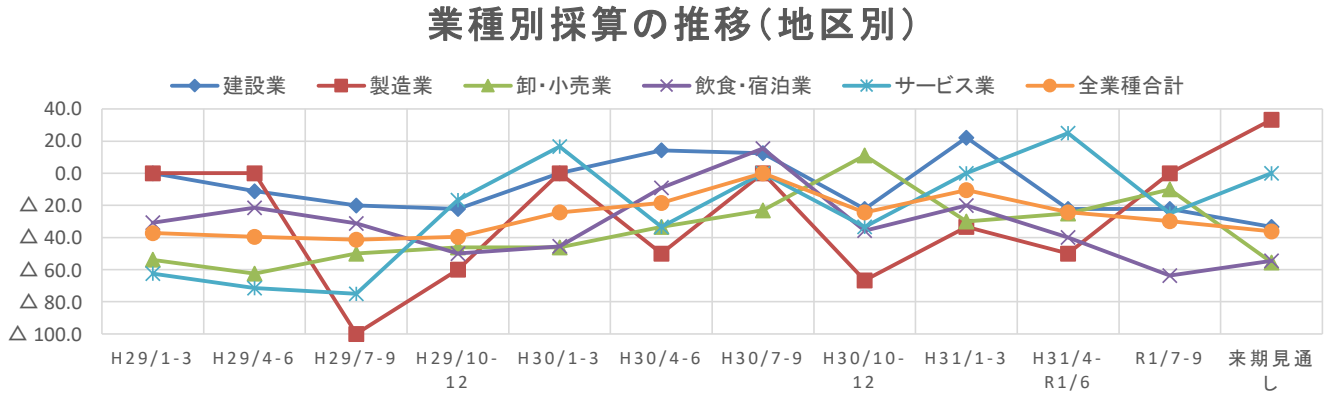


＜コメント＞　今期の市内全体の採算状況は、全業種DI値が△31.1ポイントであり、前回調査時よりも2.5ポイント悪化となっている。業種別ではサービス業のみ好転となっており、その他の業種は悪化を示している。特に製造業と飲食・宿泊業で悪化となっている。来期見通しではサービス業で悪化予測されているが、その他の業種で好転予測されていることもあり、全業種では若干の好転予測となっている。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	22.2%	33.3%	44.4%	△ 22.2	△ 33.3
製造業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0	33.3
卸・小売業	20.0%	50.0%	30.0%	△ 10.0	△ 55.6
飲食・宿泊業	0.0%	36.4%	63.6%	△ 63.6	△ 54.5
サービス業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	0.0
全業種合計	13.5%	43.2%	43.2%	△ 29.7	△ 36.1

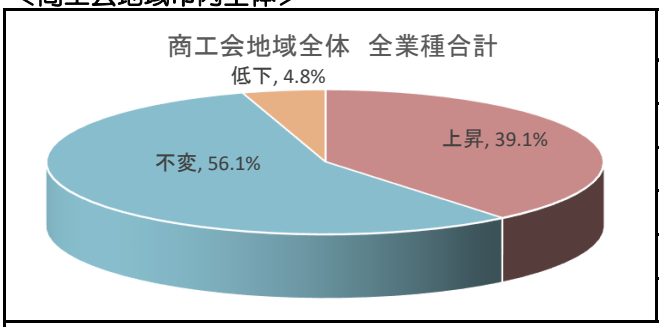


＜コメント＞　松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△29.7ポイントで、前回調査時よりも5.5ポイント悪化となっている。業種別では製造業と卸・小売業にて改善が見られたが、飲食・宿泊業とサービス業にて大きく悪化している。来期見通しでは製造業、飲食・宿泊業、サービス業で好転予測されているものの、建設業と卸・小売業にて悪化予測されており、全業種DIも今期よりも悪化予測となっている

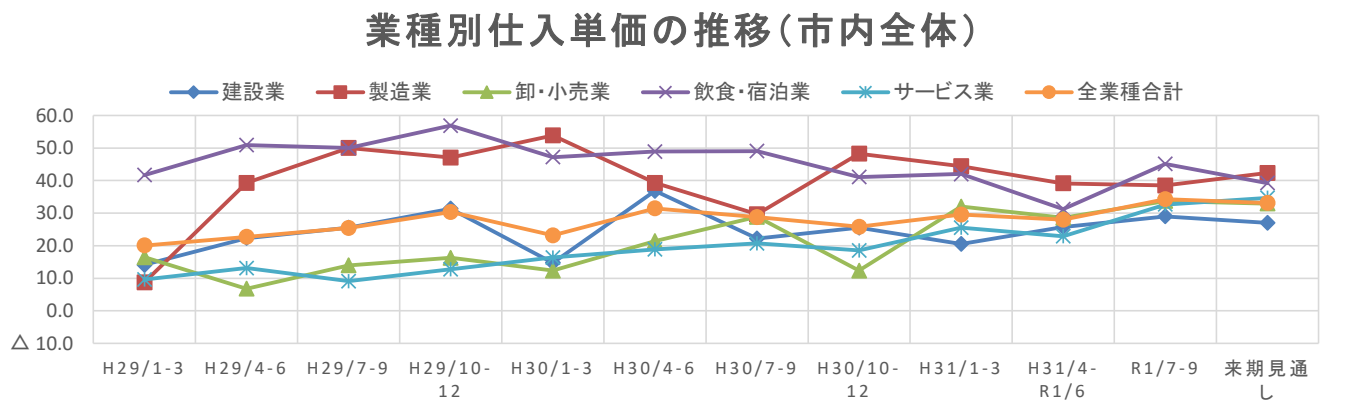
３．仕入単価について

・７月～９月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

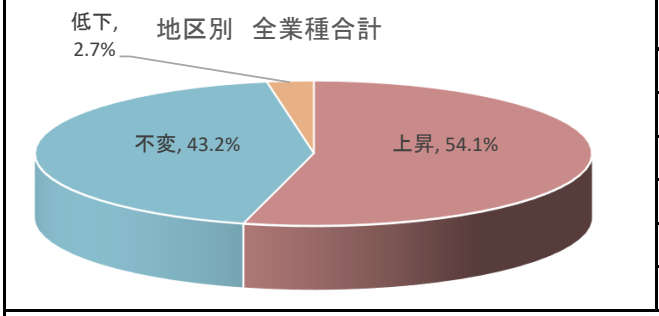


	上昇 %	不変 %	低下 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	33.0%	63.0%	4.0%	29.0	27.0
製造業	42.3%	53.8%	3.8%	38.5	42.3
卸・小売業	39.5%	54.7%	5.8%	33.7	32.9
飲食・宿泊業	52.9%	39.2%	7.8%	45.1	39.2
サービス業	34.7%	63.3%	2.0%	32.7	34.7
全業種合計	39.1%	56.1%	4.8%	34.3	33.1

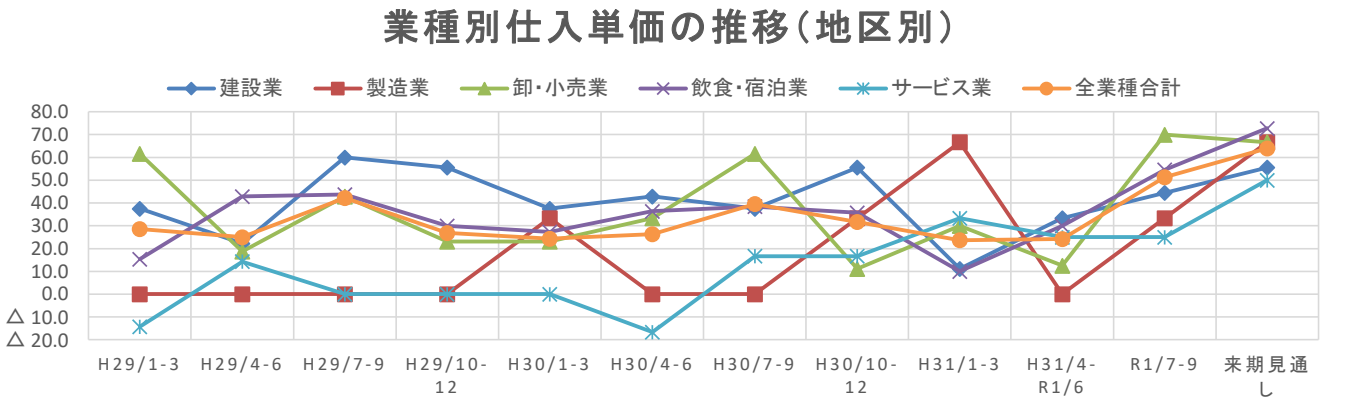


＜コメント＞　今期の市内全体の仕入単価の状況は、全業種DI値で34.3ポイントとなっており、前回調査時よりも6.3ポイントの単価上昇となった。製造業にて前期よりも若干の低下が見られたが、その他の業種は単価上昇となっている。来期見通しでは業種によって多少の変動があるものの、全業種では今期とほとんどかわらない予測となっている。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	低下 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	44.4%	55.6%	0.0%	44.4	55.6
製造業	33.3%	66.7%	0.0%	33.3	66.7
卸・小売業	70.0%	30.0%	0.0%	70.0	66.7
飲食・宿泊業	63.6%	27.3%	9.1%	54.5	72.7
サービス業	25.0%	75.0%	0.0%	25.0	50.0
全業種合計	54.1%	43.2%	2.7%	51.4	63.9

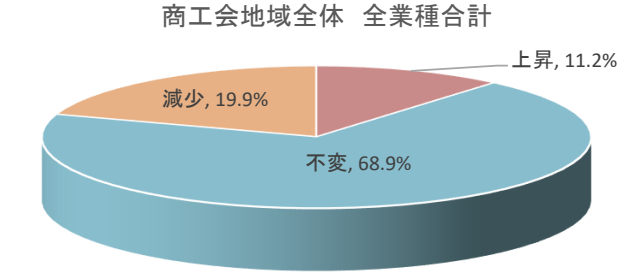


＜コメント＞　松之山地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が51.4ポイントで、前回調査時よりも27.2ポイント上昇している。調査開始後、不変以上に上昇割合が多く出たのも初めてである。推移グラフで分かるとおり、全業種での単価上昇が見られる。今後は消費税率の改正もあることもあり、来期見通しも上昇予測されている。今後の動向を注視しなければならない項目でもある。

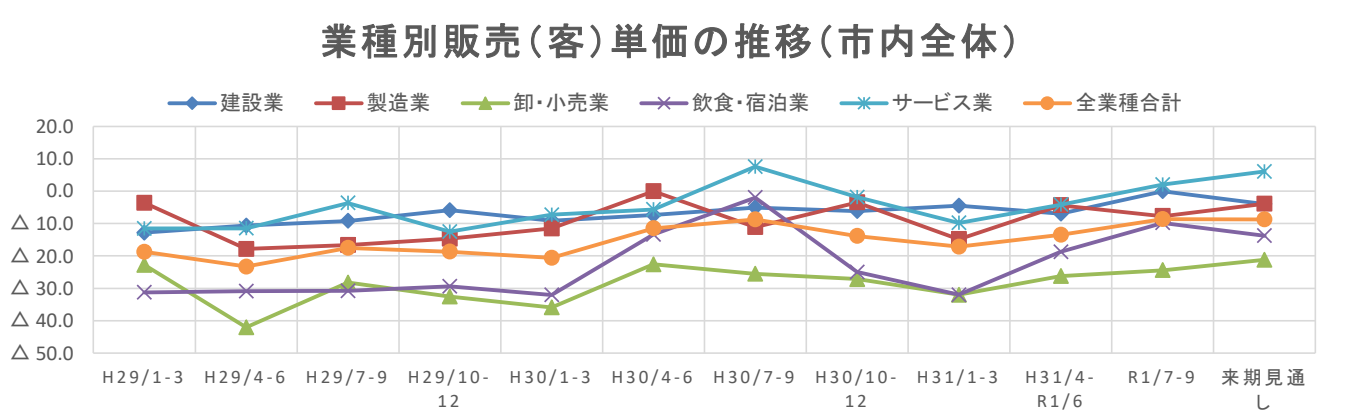
4．販売（客）単価について

・７月～９月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

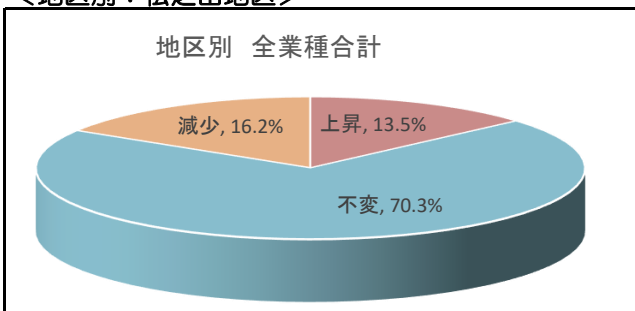


	上昇 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	10.0%	80.0%	10.0%	0.0	△ 4.0
製造業	15.4%	61.5%	23.1%	△ 7.7	△ 3.8
卸・小売業	8.1%	59.3%	32.6%	△ 24.4	△ 21.2
飲食・宿泊業	15.7%	58.8%	25.5%	△ 9.8	△ 13.7
サービス業	12.2%	77.6%	10.2%	2.0	6.1
全業種合計	11.2%	68.9%	19.9%	△ 8.7	△ 8.7

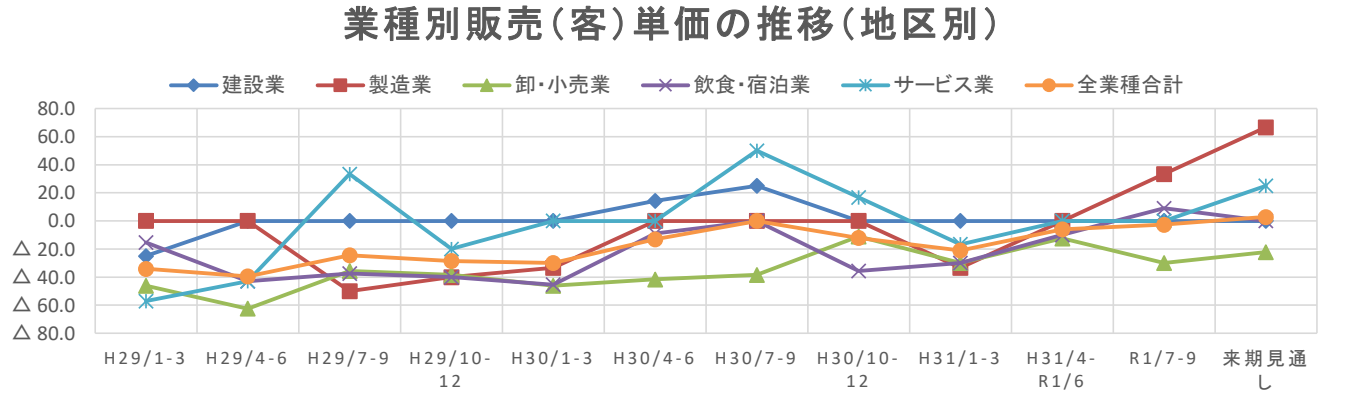


＜コメント＞　今期の市内全体の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△8.7ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント上昇している。製造業で減少が見られたが、その他の業種は単価上昇となっており、消費税率改正の駆け込み需要が多少影響したものと推測できる。来期見通しでは業種により上昇、減少のバラツキが見られるが、全業種でのDI値は今期と同様となっており、大きな変動はないものと予測されている。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
製造業	33.3%	66.7%	0.0%	33.3	66.7
卸・小売業	10.0%	50.0%	40.0%	△ 30.0	△ 22.2
飲食・宿泊業	27.3%	54.5%	18.2%	9.1	0.0
サービス業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	25.0
全業種合計	13.5%	70.3%	16.2%	△ 2.7	2.8

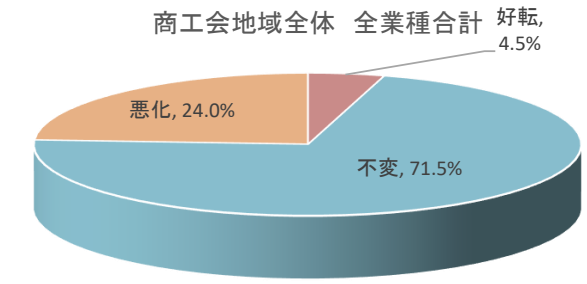


＜コメント＞　松之山地区の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値が△2.7ポイントで、前回調査時よりも3.4ポイント上昇している。卸・小売業で減少したものの、飲食・宿泊業と製造業にて上昇が見られた。来期見通しでは飲食・宿泊業で減少予測されているものの、その他の業種で上昇予測があり全業種DIにおいて今期より上昇予測されている。

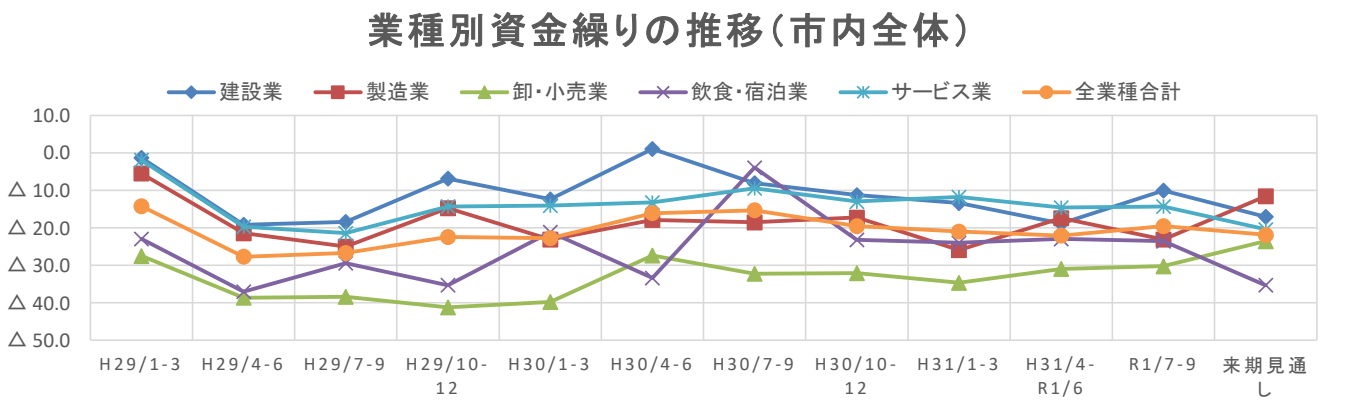
5．資金繰りについて

・７月～９月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

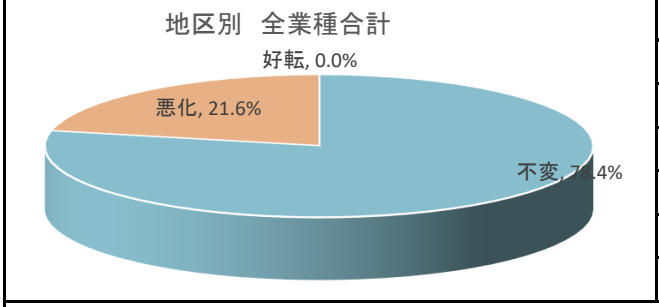


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	7.0%	76.0%	17.0%	△ 10.0	△ 17.0
製造業	3.8%	69.2%	26.9%	△ 23.1	△ 11.5
卸・小売業	2.3%	65.1%	32.6%	△ 30.2	△ 23.5
飲食・宿泊業	5.9%	64.7%	29.4%	△ 23.5	△ 35.3
サービス業	2.0%	81.6%	16.3%	△ 14.3	△ 20.4
全業種合計	4.5%	71.5%	24.0%	△ 19.6	△ 21.9

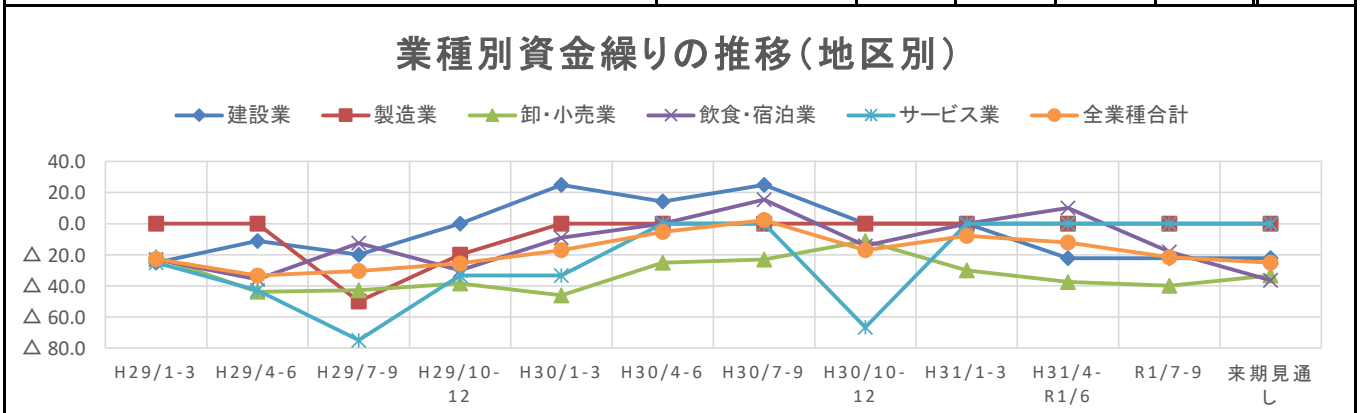


＜コメント＞　今期の市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△19.6ポイントであり、前回調査時よりも2.4ポイント好転している。製造業と飲食宿泊業で悪化を示しているが、その他の業種では好転している。来期見通しでは製造業と卸・小売業で好転予測されているものの、その他の業種では悪化予測があり全業種でのDIは今期よりも若干の悪化予測となっている。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	77.8%	22.2%	△ 22.2	△ 22.2
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
卸・小売業	0.0%	60.0%	40.0%	△ 40.0	△ 33.3
飲食・宿泊業	0.0%	81.8%	18.2%	△ 18.2	△ 36.4
サービス業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
全業種合計	0.0%	78.4%	21.6%	△ 21.6	△ 25.0

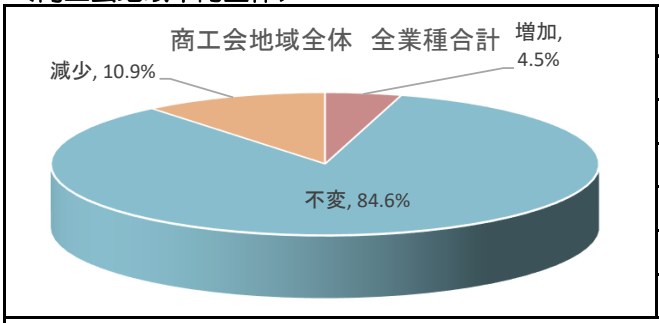


＜コメント＞　松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△21.6ポイントで、前回調査時よりも9.5ポイントの悪化となっている。卸・小売業と飲食・宿泊業にて悪化が見られるが、その他３業種は前回調査時と同ポイントであった。来期見通しでは飲食・宿泊業において悪化予測があり、全業種DIも若干であるが今期よりも悪化を示している。

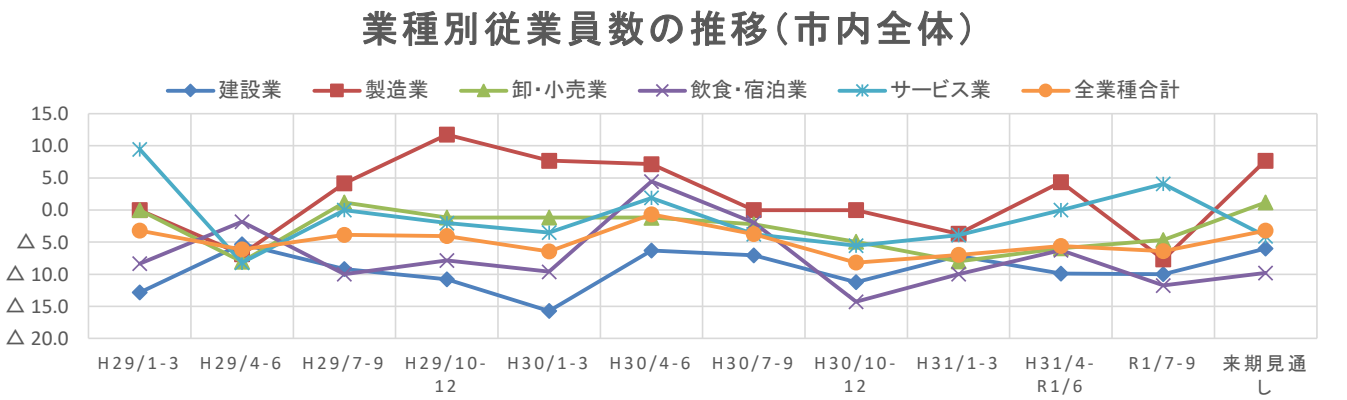
6．従業員数について

・７月～９月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

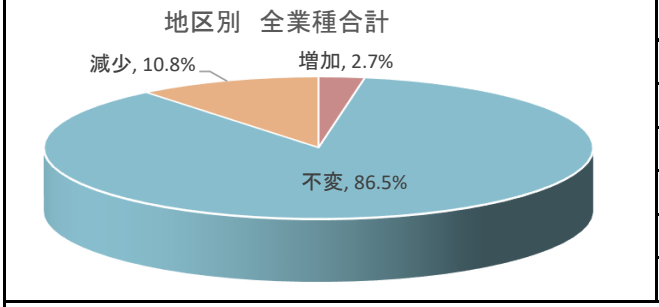


	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	8.0%	74.0%	18.0%	△ 10.0	△ 6.0
製造業	0.0%	92.3%	7.7%	△ 7.7	7.7
卸・小売業	0.0%	95.3%	4.7%	△ 4.7	1.2
飲食・宿泊業	2.0%	84.3%	13.7%	△ 11.8	△ 9.8
サービス業	10.2%	83.7%	6.1%	4.1	△ 4.1
全業種合計	4.5%	84.6%	10.9%	△ 6.4	△ 3.2

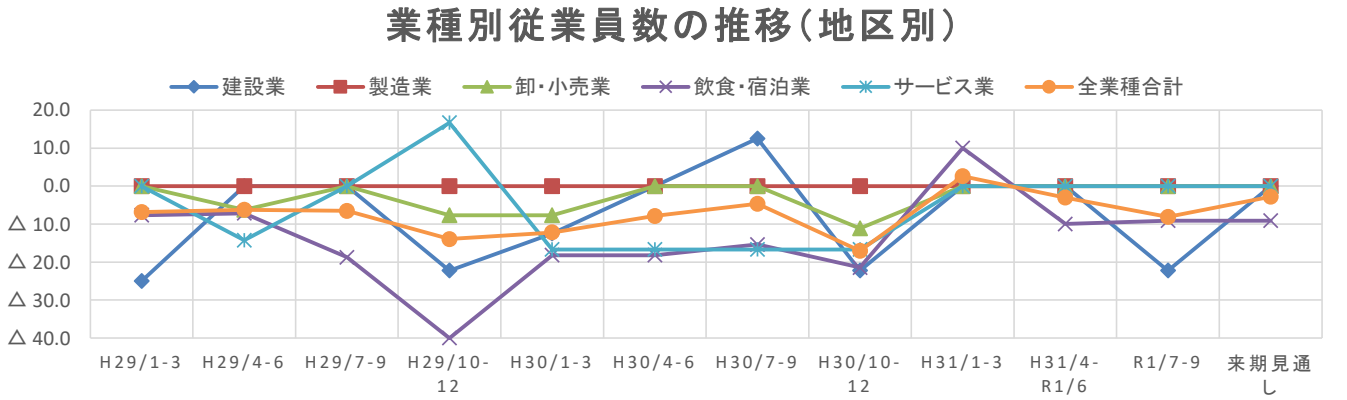


＜コメント＞　今期の市内全体の従業員数の状況は、全業種DI値で△6.4ポイントとなっており、前回調査時よりも0.8ポイント減少となっている。製造業と飲食・宿泊業にて減少が見られたが、その他の業種では増加を示している。来期見通しではサービス業で減少予測されているが、その他の業種では増加予測されており、全業種DIにおいても今期よりも増加予測されている。

＜地区別：松之山地区＞



	増加 %	不変 %	減少 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	11.1%	55.6%	33.3%	△ 22.2	0.0
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
卸・小売業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
飲食・宿泊業	0.0%	90.9%	9.1%	△ 9.1	△ 9.1
サービス業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0
全業種合計	2.7%	86.5%	10.8%	△ 8.1	△ 2.8

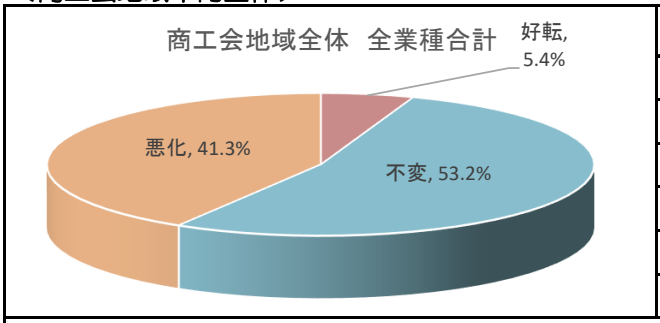


＜コメント＞　松之山地区の今期の従業員数状況は、全業種DI値が△8.1ポイントで、前回調査時よりも5.1ポイント減少となっている。建設業にて減少が見られるが、その他の業種は大きな変動はない。来期見通しにて建設業での増加予測があり、前回調査時の水準に戻るものと思われる。

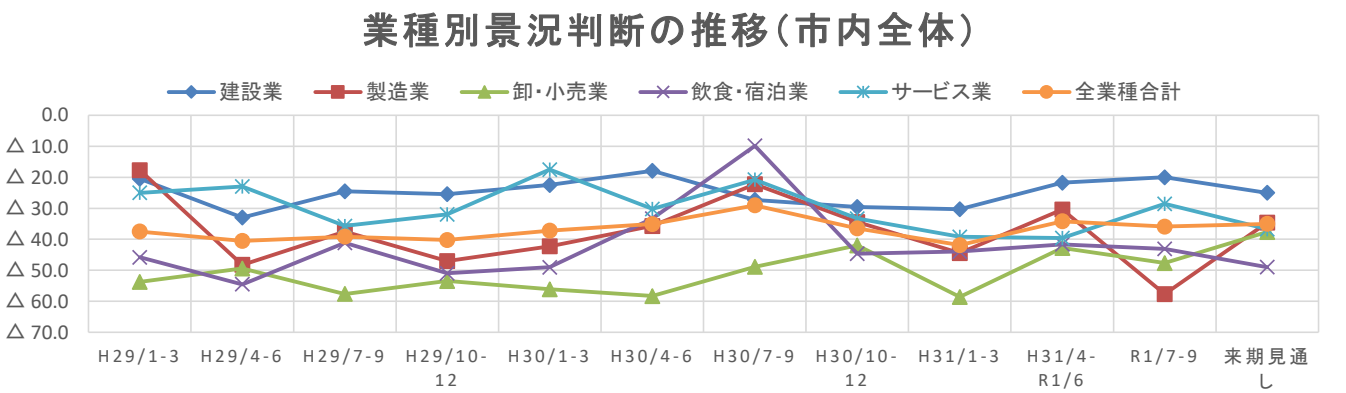
7．景況判断について

・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

＜商工会地域市内全体＞

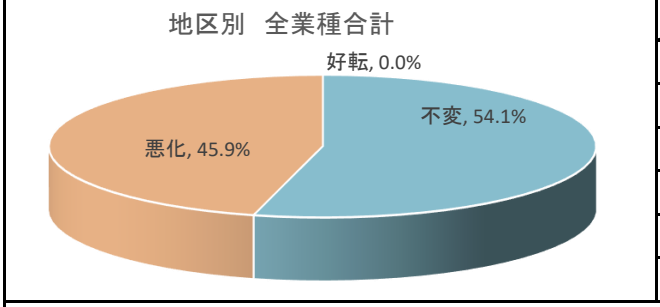


	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	7.0%	66.0%	27.0%	△ 20.0	△ 25.0
製造業	0.0%	42.3%	57.7%	△ 57.7	△ 34.6
卸・小売業	2.3%	47.7%	50.0%	△ 47.7	△ 37.6
飲食・宿泊業	7.8%	41.2%	51.0%	△ 43.1	△ 49.0
サービス業	8.2%	55.1%	36.7%	△ 28.6	△ 36.7
全業種合計	5.4%	53.2%	41.3%	△ 35.9	△ 35.0

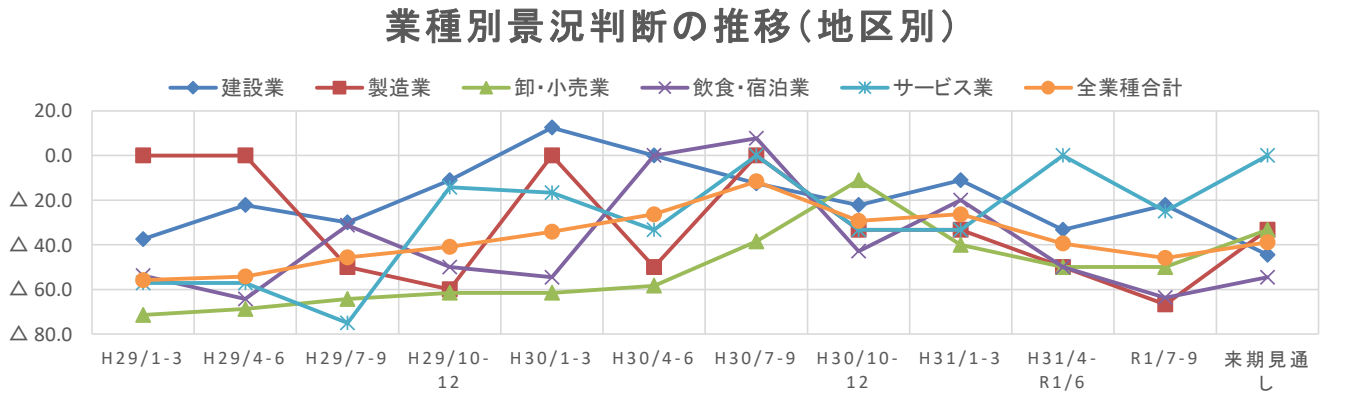


＜コメント＞　今期の市内全体の景況判断は、全業種DI値で△35.9ポイントとなっており、前回調査時よりも1.7ポイント悪化となっている。建設業とサービス業にて好転となっているが、その他の業種では悪化を示している。来期見通しでは、業種により好転、悪化とバラツキが見られるものの、全業種のDI値は今期と大きな変動は見られない。

＜地区別：松之山地区＞



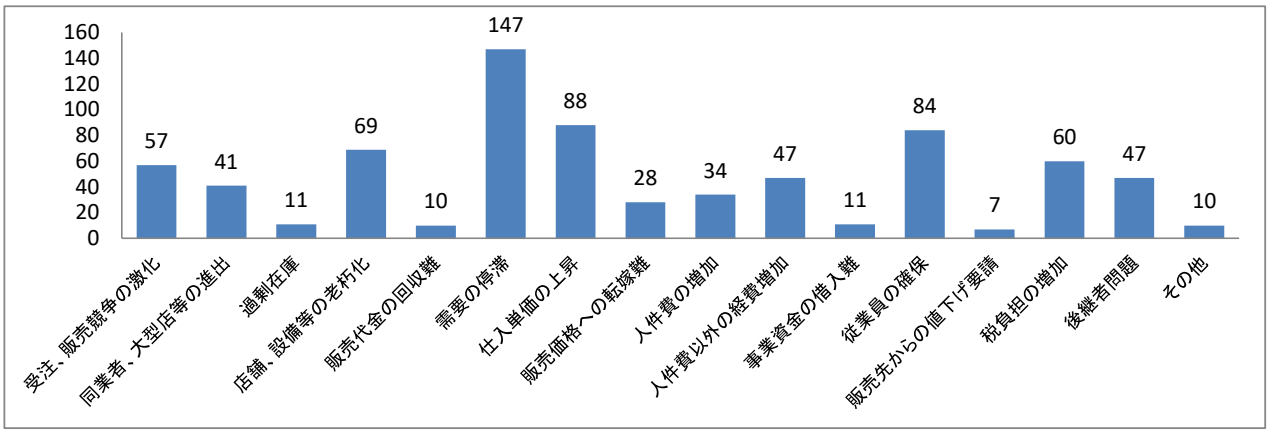
	好転 %	不変 %	悪化 %	ＤＩ	見通しＤＩ
建設業	0.0%	77.8%	22.2%	△ 22.2	△ 44.4
製造業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 33.3
卸・小売業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 33.3
飲食・宿泊業	0.0%	36.4%	63.6%	△ 63.6	△ 54.5
サービス業	0.0%	75.0%	25.0%	△ 25.0	0.0
全業種合計	0.0%	54.1%	45.9%	△ 45.9	△ 38.9



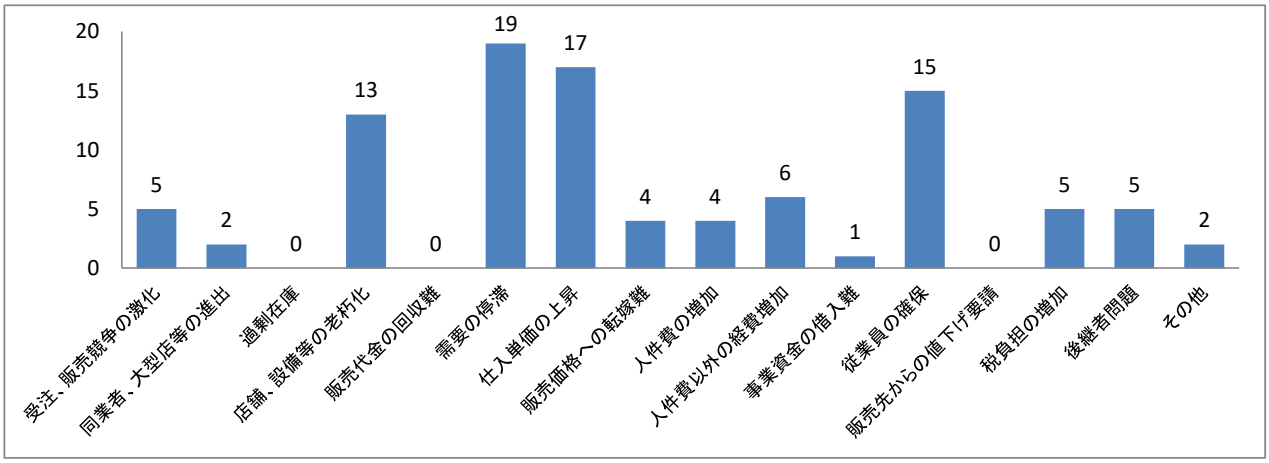
＜コメント＞　松之山地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△45.9ポイントで、前回調査時よりも6.5ポイントの悪化となった。建設業で好転、卸・小売業が横這いであったが、その他３業種にて悪化となっている。市内全体の減少よりも松之山地区の減少ポイントが多く出ている。来期見通しでは建設業で悪化予測されているが、その他の業種で好転予測があり、業種全体では好転予測となっている。

８．経営上の問題点（上位３つ）

商工会地域全体　全業種合計



地域別　全業種合計



＜コメント＞　今期調査での経営上の問題点は、前回調査時と１位から４位まで同じで、１位「需要の停滞」２位「仕入単価の上昇」３位「従業員の確保」４位「店舗、設備等の老朽化」であった。
松之山地区の経営上の問題点は、１位から４位までの順位も市内全体と同じ結果であった。前回調査時は「仕入単価の上昇」「従業員の確保」「店舗、設備等の老朽化」が同数であったが、「仕入単価の上昇」が多く上げられている。

９．地区の景況概要

・７月～９月時点での全体概況は

【建設業】
今期の建設業の状況は、DI値より売上状況が前回調査時よりも減少（悪化）しているところに仕入単価の上昇も重なっていたが、採算状況、資金繰り状況においては前回調査時と同ポイントとなっている。景況判断も前回調査時よりも好転していることから、春先に出なかった公共工事等が出てきたことによるものと推測する。しかし、仕入単価の上昇は来期見通しにおいても予測されており、景況判断も来期は悪化予測されている。

【製造業】
今期の製造業の状況は、売上の減少と仕入単価の上昇により景況判断が前回調査時よりも悪化となっている。ただし、来期見通しにおいて仕入単価の上昇予測をされているものの、売上の増加と販売単価の上昇が予測されており、景況判断も今期より好転するものと予測されている。

【卸・小売業】
今期の卸・小売業の状況は、売上の減少と仕入単価の上昇が見られたが、採算状況、資金繰り、景況判断においては前回調査時と大きな変動は見られなかった。来期見通しでは、景況判断に好転予測があり、今後の動向に注視したい。経営上の問題点には、「需要の停滞」と同数で「店舗設備の老朽化」が上げられているが、大幅な売上増加が見込めないことから設備投資にはつながっていないものと思われる。

【飲食・宿泊業】
今期の飲食・宿泊業の状況は、売上減少と仕入単価の上昇が影響し、採算状況、資金繰り、景況判断にて悪化を示している。来期見通しでは、売上の増加予測はあるものの、仕入単価の上昇予測もあり資金繰りも悪化予測されている。経営上の問題点では「店舗設備の老朽化」が一番多く、「仕入単価の上昇」と「従業員の確保」が同数で次いでいる。

【サービス業】
今期のサービス業の状況は、仕入単価は変わらないものの売上状況で大きく減少しており、比例して採算状況、景況判断も悪化となっている。来期見通しでは仕入単価の上昇予測はあるが、その他の項目で改善傾向を示しており今期よりも上向くことと推測できる。経営上の問題点には「需要の停滞」と「従業員の確保」が同数で1位にあげられ、業種を問わず人材不足の状況にあると思われる。